

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和元年12月解析分)

1 今月のトピックス

感染性胃腸炎の流行状況について

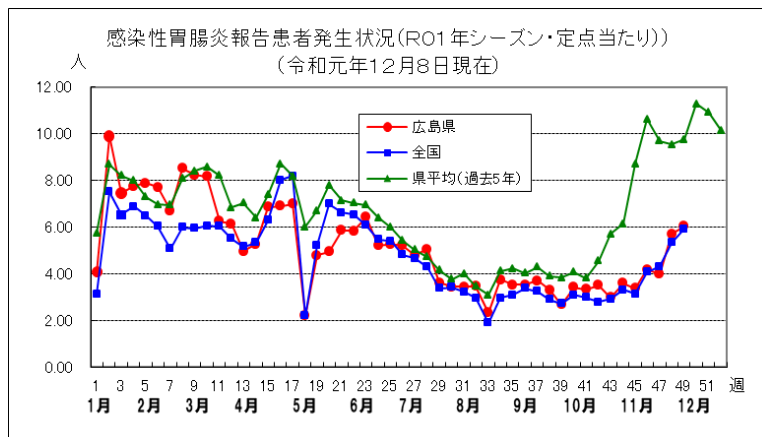
感染性胃腸炎 厚生労働省 検索

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌などを原因として、下痢や嘔吐などの症状が出る感染症で、冬場は、ノロウイルスやロタウイルスによるものが増加します。

例年、年末に流行のピークを迎えるため、この時期、特に注意が必要です。

集団感染が起きやすい高齢者施設、保育所や幼稚園などでは、こまめな手洗い、食品の十分な加熱、次亜塩素酸

ナトリウムによる適切な消毒等、感染の予防及び拡大防止対策を徹底するとともに、感染症または食中毒が疑われる事案が発生した場合は、速やかに保健所に連絡するようお願いします。



(参考) 次亜塩素酸ナトリウムによる消毒

【消毒液の用途と作り方】

- 次亜塩素酸ナトリウムは、市販の「家庭用塩素系漂白剤（濃度約5%）」に含まれています。

使用する場所・物	出来上がる消毒液の濃度	作り方	
食器類 流し台 浴槽	200ppm (0.02%)	家庭用塩素系漂白剤 10ml (ペットボトルのキャップ 2杯分)	水 2.5ℓ (500mlのペットボトル 5本分)
家具類 床	1,000ppm (0.1%)	家庭用塩素系漂白剤 10ml (ペットボトルのキャップ 2杯分)	水 0.5ℓ (500mlのペットボトル 1本分)

【消毒液を取扱う際の注意点】

- 吐物や便等汚れが残っていると消毒効果が低下します。**汚れをよく除去してから使用**してください。
- 換気を十分に行ってください。
- 皮膚に対して刺激作用があるので、ビニール手袋等を使用してください。また、**手指・皮膚の消毒には絶対に使用しない**でください。
- 漂白作用があるので、**衣類等には使用せず**、他の方法（85℃以上の熱水消毒等）で消毒してください。
- 金属を腐食させる性質があるため、**金属に使用したときは念入りに水拭き**してください。
- 消毒液は、時間の経過とともに効果が落ちます。その都度使い切ってください。
- 誤って飲むことがないように、**消毒液の入った容器には、消毒液であることを表示**してください。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和元年11月分(令和元年11月4日～令和元年12月1日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	2,056	4.47	0.77	↑	10	ヘルパンギーナ	26	0.09	0.11	↓
2	RSウイルス感染症	165	0.57	1.49	↓	11	流行性耳下腺炎	31	0.11	0.57	↗
3	咽頭結膜熱	221	0.77	0.40	↗	12	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.02	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	464	1.61	2.32	↗	13	流行性角結膜炎	46	0.61	0.97	↘
5	感染性胃腸炎	1,245	4.32	9.58	↗	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
6	水痘	60	0.21	0.57	↗	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
7	手足口病	114	0.40	0.76	↓	16	マイコプラズマ肺炎	11	0.13	0.31	↗
8	伝染性紅斑	120	0.42	0.27	↗	17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	89	0.31	0.37	→	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.02	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和元年11月分(11月1日～11月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	75	3.26	2.26	→	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	63	3.00	3.53	↘
20	性器ヘルペスウイルス感染症	23	1.00	0.82	→	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	6	0.29	0.44	
21	尖圭コンジローマ	20	0.87	0.59	↗	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.00	
22	淋菌感染症	13	0.57	0.89	↓						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患	インフルエンザ	(1.03 → 4.47)
○急減疾患	RSウイルス感染症	(1.64 → 0.57)
	手足口病	(0.85 → 0.40)
	ヘルパンギーナ	(0.35 → 0.09)
	淋菌感染症	(1.22 → 0.57)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑ ↓	1:2以上の増減
増減	↗ ↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗ ↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患, 月報対象7疾患)について, 県内178の定点医療機関からの報告を集計し, 作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	38	結核(38)〔西部保健所(6), 西部東保健所(2), 東部保健所(5), 北部保健所(2), 広島市保健所(8), 呉市保健所(3), 福山市保健所(12)〕
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症(3)〔東部保健所(1), 福山市保健所(2)〕
四類	26	A型肝炎(1)〔呉市保健所(1)〕, つつが虫病(10)〔西部保健所(4), 西部東保健所(1), 広島市保健所(5)〕, デング熱(1)〔広島市保健所(1)〕, レジオネラ症(9)〔西部保健所(1), 東部保健所(2), 広島市保健所(4), 呉市保健所(1), 福山市保健所(1)〕, 日本紅斑熱(4)〔西部東保健所(1), 福山市保健所(3)〕, 日本脳炎(1)〔西部東保健所(1)〕
五類	51	アメーバ赤痢(2)〔広島市保健所(2)〕, ウイルス性肝炎(1)〔西部東保健所(1)〕, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(5)〔西部保健所(2), 東部保健所(1), 呉市保健所(2)〕, クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔広島市保健所(1)〕, バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕, 急性弛緩性麻痺(1)〔福山市保健所(1)〕, 急性脳炎(2)〔広島市保健所(1), 呉市保健所(1)〕, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕, 侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)〔西部保健所(1)〕, 侵襲性肺炎球菌感染症(3)〔広島市保健所(2), 福山市保健所(1)〕, 水痘(入院例)(3)〔西部東保健所(1), 北部保健所(1), 広島市保健所(1)〕, 梅毒(13)〔西部保健所(1), 東部保健所(2), 北部保健所(2), 広島市保健所(5), 福山市保健所(3)〕, 百日咳(16)〔西部東保健所(3), 北部保健所(2), 広島市保健所(10), 福山市保健所(1)〕, 風しん(1)〔西部東保健所(1)〕